

## 平成 30 年度 第 4 回 わこう翔裕館運営推進会議

### (グループホーム・看護小規模多機能型居宅介護)

開催日時	平成 31 年 2 月 6 日 (水) 14:00 ~ 15:00
開催場所	わこう翔裕館 相談室
参加者	和光市 長寿あんしん課 平川課長補佐 北第 2 包括支援センター 小林様 民生委員 ご利用者 後藤美恵子様 わこう翔裕館 常井 (管理者兼計画作成担当者) 小林 (看護小規模多機能)

記録： わこう翔裕館職員

#### 【議題 1】 利用者の状況

<概要>グループホームは、平成 31 年 2 月 1 日現在で 18 名となっております。(待機者は 1 名) また、看護小規模多機能型居宅介護 (29 名登録定員) は平成 31 年 2 月 1 日現在で 21 名の利用登録の状況です。※2 名は入院中。

12 月 1 日現在の要介護度別利用者数

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
グループホーム	2	7	6	3	0
看護小規模多機能	9	8	4	0	0

単位：人

#### <主な質問、意見等>

平川様：2 名の入院 (看多機) の内容は。

小林：1 名は体調不良。

1 名はデイサービス迎いの 20~30 分前、向きを変えようとして転倒。

施設側が迎えに行った時、発見。家族に連絡し救急搬送。骨折との事で入院。

平川様：体調不良の内容は。

小林：もともとの持病が悪化。

平川様：看多機の利用者様は増えましたか。

小林：増えています。

平川様：利用者様のニーズが増えているのですね。

#### 【議題 2】 行事及び事業報告

##### ・管理者変更

平成 31 年 1 月 1 日より看護小規模多機能型居宅介護及びグループホーム管理者を変更しております。(旧：栗田 俊平→新：常井 浩二) 尚、栗田につきましては、引き続き施設長として在籍となりますので、宜しく願いいたします。

- ・クリスマス会（平成 30 年 12 月 22 日）全館対象に実施しました。寿司を中心としたランチビュッフェをお楽しみいただき、クリスマスソングを皆様で合唱しました。
- ・餅つき会（平成 31 年 1 月 10 日）全館対象に実施しました。昔ながらの杵と臼を使用して餅つきを 2 回戦行いました。ご利用者やご入居者にも支えながらついてもらい、つきたてのお餅を皆様でおいしくいただきました。
- ・2 月には、恵方巻づくり、豆まき、きりたんぼ鍋作りを予定。
- ・3 月には、ひな祭り、ぼたもち作りを予定。
- ・外食レク 柳家（寿司屋） 利用者 6 名(スタッフ 6 名)

<主な質問、意見等>

質問等無し

### 【議題 3】 事故報告（平成 30 年 12 月～平成 31 年 1 月）

- ・看護小規模多機能…事故発生件数は 0 件でした。
- ・グループホーム……事故発生件数は 10 件でした。内訳は転倒 7 件、薬関係 2 件、その他 1 件となります。薬関係に関しては同一の方となります。服薬後に口腔内に残っていた薬を落としていました。対応としては、その方に限らず飲み込み確認を徹底してまいります。その他については腕にアザがついており、本人より立ち上がった際に壁にぶつけてしまいついてしまったとご報告がありました。居室内等でぶつけてしまうことが想定される箇所に緩衝材を付けるなどして対応しております。転倒に関しては、うち 1 名が 4 件に関わっており、歩行器使用でしたが足元が不安定なことから発生、現在は車いす対応としています。もう 1 名につきましては車いす利用の方で 2 件に関わり、時おり体動が激しくなり車いす上からの立ち上がりやベッド上での体の位置ずれが見られていました。職員が駆け付けやすい位置に食席を変更、ベッド下にマットを敷くなどの対応をとっていましたが、1/14 の早朝にマット状に座り込んでいる所を発見、当時は痛み等の諸症状は見られず様子観察としましたが、1/16 に痛みを訴えられ受診した結果、右大腿部骨折との診断を受け、装具固定により現在まで当施設での対応となっています。1 件については、一人で歩くことが可能な方が、1/17 深夜 1 時すぎにトイレに行こうとしたところ居室内で転倒。左大腿部頸部骨折の診断を受け翌日に手術、1/19 よりリハビリ開始となっており歩行器にて歩行可能な状態。2/2 に退院予定となっております。

<主な質問、意見等>

平川様：平成 30 年度の事故 10 件は、平成 29 年度等の平均と比べて多かったのですか。

小林：件数は横ばいです。

居室内に緩衝材を付ける等、対応をしています。

平川様：10 件の内容は。

小林：車椅子より転倒。

ベッドに座っていて、体を移動時尻もち等の転倒 7 件です。

服薬系は 2 件です。

平川様：事故件数が減る様に考えてほしい。

小林：事故件数は減らしたいと考えている。

小林様：車椅子は安全な面もあるが、筋力低下やADLの低下もあるので、その線引き（歩行器を使用するか）が難しい。動けるうちの車椅子利用は、動けるので転倒のリスクもある。

平川様：事故の際は、時系列でなるべく早めにご家族に伝えた方が良い。

#### 【議題4】地域連携の取り組み

- ・グループホーム入居者において定期的に訪問医（内科）が入っておりますが、他科に関してはご家族等にも協力を仰ぎ外来受診をしています。ご家族や本人の負担を軽減すべく他科訪問診療を積極的に利用できるよう支援をしております。※現在までに眼科、皮膚科に導入事例あり。

#### <主な質問、意見等>

平川様：医療以外、自治会等との連携はありますか。

災害時の助け合いは地域なので、自治会等との連携もこの先考えていくと良いのではないかと。地域によっては、自治会の方を施設に呼んだりしている。

平川様：訪問医は。

小林：まちだ訪問クリニック（基本）  
朝霞中央クリニックです。

平川様：訪問医を選べるのですか。

小林：看多機利用者様がそのままGHへのご入居となったので、朝霞中央クリニックをそのまま利用となった。

※現在、オアシス愛生クリニック（皮膚科）、和光在宅診療所（眼科）の訪問診療実績あり。

#### 【その他】

平川様：インフルエンザの予防接種は実施していますか。

小林：実施しています。

平川様：症状が出ている人はいますか。

小林：いません。

平川様：症状が出たら、迅速に対応して下さい。

マスク・消毒の設置は行われているが、もっと目立つ入り口側の所への設置が良いのではないかと。

平川様：利用者様のご家族も運営推進会議に参加する等考えているか。

小林：検討します。

#### 【次回開催日時等】

2ヶ月毎の開催（偶数月）で第1水曜日

<日時> 平成31年4月3日（水）14:00～ 予定

<会場> わこう翔裕館 地域交流施設ひまわり